

東白の松風

公立学校退職校長会東白川支部
発行責任者 下重 康仁
◆創刊 平成2年8月1日

今後の東白川支部活動の展開は？

～2月17日の事務局会から～

支部長 下重 康仁



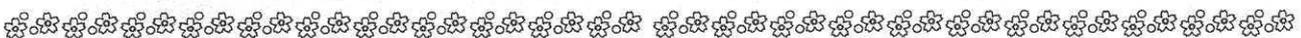
会員の皆様の令和5年度の東白川支部活動へのご理解ご協力、誠にありがとうございました。深く御礼申し上げます。

令和6年2月17日に事務局会が実施されました。その中で、会員の高齢化や退職者の再任用、新入会員の減少などで計画された事業への参加者が少なくなってきたことや会計のやりくりが、今後は大変になるのではないかと話題に上がりました。この中で、会計のやりくりについて取り上げてみたいと思います。

まず、令和5年度の会計からです。この中で、事業費、特に研修旅行費を例にとってみましょう。

今年度の支部会計支出総額予定は、約36万円強です。支出の部の事業費で支出した135,170円のうち、バス代だけで80,000円支出しました。これは支部会計支出予定総額のうち約4分の1弱となります。前年度までのバス代は安く、値引きしていただいていたのですが、今年度からはバス会社より「これが適正な値段です。」と提示されました。

また、今回は研修旅行担当が、一生懸命企画して参加を呼びかけても、参加者が11名とギリギリでの開催でした。全会員の6分の1の参加者です。この人数でのバス代として「毎年こうだと負担が大きいね。」との声もありました。参加者の募集が今後も大変であるとともに、年会費が減少してくる（新入会員の減、免除者の増など）のに、バス代として、毎年80,000円ずつ計上されていいものかなど、会計の厳しさが現実味を帯びてきています。さらに、研修場所についても、郡内各地はもとより、県南周辺も見学・研修済みという場所も多いので、歴史ある研修旅行のあり方も検討の余地があるのではないかと、出席者一同で考えさせられる事務局会でした。



《 令和6年度総会 》

※ 下記のように予定されています。

- 日時… 4月20日(土) 10:00～14:00
- 場所… 新富家会館 (棚倉町南町 TEL 33-4147)
- 日程



9:30	10:00	10:50	11:00	11:50	12:10	12:15	14:00
受付	総会 (50分)	休憩	研修会 (50分)	クラブ打合せ (20分)	移動	懇親会 (105分)	

「矢祭町コミュニティ・スクール構想と現状」

矢祭町立やまつりこども園長 吉田 信也



今回は矢祭町のコミュニティ・スクールについてお伝えします。矢祭町では令和3年度に「地域と共にある学校づくりによる持続可能な矢祭町をつくる」を推進スローガンに、矢祭町学校運営協議会を立ち上げました。現在約30名の運営委員、事務局員で構成され、さまざまなテーマで研修や熟議を行い「地域と共にある」学校づくりを推し進めています。

また、今年度からはこども園・小学校・中学校を矢祭わかあゆ学園として、0歳から15歳までの子どもたちに一貫した教育を進めようとビジョンを作成し、実践しています。『「明るく前向きに取り組む人間性の高い人」を育てる15年間の教育』を柱に、めざす人間像は「自ら考え表現し、自己実現ができる人」「自他を愛し、共に幸福を求めること(Well-being)ができる人」「心身ともに健康で、自分を磨くことができる人」「自然を愛し、郷土を愛し、世界の持続可能な発展に貢献できる人」の4つを掲げています。園や学校が実践する具体的な取組とともに、家庭や地域の取組についても提案しています。



【子どもたちはもったいない図書館を訪問し好きな本を選びます】

この1月からは、町を挙げて「読書の町矢祭」をより浸透させるため、コミュニティ・スクールが主体となって「家読」(うちどく)を推進しています。併せて、今年度「地域学校協働本部」を立ち上げコーディネーターを置いて、園・学校と地域を結び地域人材の有効活用を目指しています。学校が求める指導者を探し出したり、ボランティアを募って園・学校に役立てたりしています。これから、もっと成果が上がるものと期待しています。

いかがお過ごしですか？

～会員の皆様の生活の様子や想い～

「クラシックギター弾いてます」

永山 美雄

令和5年3月に近津小学校の再任用校長を退職しました。東白川地区では棚倉中学校と近津小学校での8年間、先輩の校長先生方には大変お世話になり、無事に職務を終えられたことに対して心から感謝を申し上げます。

さて、退職後一年間は何もしないで好きなことをして過ごそうと思っておりましたが、思うようにはできませんでした。その中でギターを弾くことだけは飽きずに続いています。写真は昨年5月、福島大学のギター部が部員不足で廃部になるという残念な知らせを受け、OBやOGが集いコンサートを行った時のものです。来る4月20日の土曜日にもOBの有志が集い、福島市音楽堂でコンサートを開催する予定になっています。



私がギターを始めたのは、中学生の時に級友のK君が音楽の時間に「おさびし山の歌」という曲を格好よく弾いているのを聞き、衝撃を受けたことがきっかけでした。その後、大学に進学しS君のフラメンコギターの演奏を聴き、「何だこの指の動きは！」と再び衝撃を受けて本格的に始めました。

人との出会いは生涯の生き方を左右する大切なものであると、今になって再認識をしているところです。ちなみに、K君とS君とは今でも親しく交流させていただいており、彼らには大変感謝しています。

令和5年度のボランティア活動報告

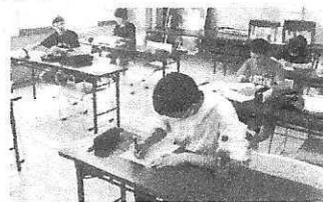
「地域の寺子屋」学習ボランティア

ボランティアバンク担当 矢吹政徳

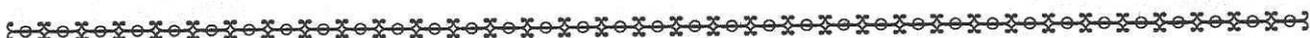
コロナ禍の減少とともに、日頃の日常が戻りつつあります。今年度の要請は、以前のように戻り、7件、のべ47名となりました。少なからず郡内の教育発展の一助を担えるのではないかと自負しております。

今年度の新たな要請として、鮫川村教育委員会より「地域の寺子屋」学習ボランティアが加わりました。小・中学生を対象に、夏休みの宿題の支援をするというものです。小・中とも10名以内の少人数でしたけれども、企画した鮫川村教育委員会に敬意を表したいと思います。

私が担当してから、中学生を対象とするボランティアは初めてでした。教科別の支援になるため、要請に応えられるか不安でしたが、一日一名で間に合ったので、支援者が専門とする教科を中心に指導してもらいました。多くの支援者に協力いただいて、うまく実施できて安心しました。また要請があれば、よろしく願いいたします。



<鮫川村HPより>



クラブ活動報告

～部員の皆様の活動の様子や思い～

【山野草クラブ】 見学研修会について

山本 純

クラブ員も現在は高齢化などの理由で減少してしまいましたが、本年度は新入会員が2名入り、6名で活動しております。

今年度はコロナのため4年ぶりに6月に見学研修会を実施することができました。初めに那須「山の花」コピスガーデンで沢山の山野草を見学し、道の駅那須高原友愛の森で色々な山野草の研修をし、沢山の季節の山野草を見学することができました。

帰りは、道の駅伊王野で美味しいお蕎麦を食べ、西郷村山野草店「河合・奥州屋」に寄り、各自お気に入りの苗等を購入し帰路につきました。

合同の研修会は、とても良い天気にも恵まれ楽しい研修と親睦を図ることができました。

来年度は、里山などの山野草の花の観賞や展示会の見学だけでなく、会員が育てている山野草を持参し、鑑賞会を行うなどの活動も考えております。



【東南クラブ】 4年ぶりの「それ、当たりです。」

下重 康仁

新型コロナウイルスへの対策のため、令和2, 3, 4年度と開くことができなかった東南クラブでしたが、今年度は、各学期1回を目安に開くことにしました。

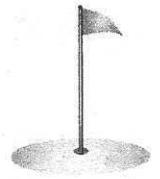
第1回目は、6月20日、第2回目は、11月8日、第3回目は3月に開く予定です。第1回目は、第5類に移行してから日も浅いので、大事をとって午前中だけ。第2回目はもう大丈夫だろうと、午前・午後。牌を握ることが久しぶりでしたが、各人の腕はブランクを感じさせることなどなく、知略に富んだ待牌を仕組んだものでした。「リーチ」の後、「さあ、どうする〇〇」と大河ドラマよろしく構え、3人の捨て牌に目を凝らします。当たり牌が出れば、「当たりー。高いよ。裏ドラ付いてハネ満だあ。」と非情で高らかな声。当たった方は、あーあ。こっちを捨てれば、良かったのか。」というぼやき。でも、牌を握るのが楽しくて、あっという間のひとときでした。



【ゴルフクラブ】 ゴルフ三昧

中野喜久枝

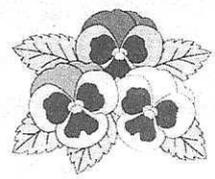
「楽打歩会」は面川春男部長のもと、現在11名の部員で活動しています。令和5年度は白河国際CCにて5回コンペを開催しました。部員相互の親睦を深め、健康と技術の向上を目指して取り組んでいます。とは言え、たかがゴルフ、されどゴルフ。動画サイトからは様々なゴルフの練習方法を学び、仲間からはアドバイスを頂き、TVではPGA選手のすごいプレーを見て感心しと。多くの情報に囲まれています。はたして自分のゴルフの現在地は何処なのか。試行錯誤して見えてくるもの、それはまぎれもなく自分です。敵は他の誰でもなく自分自身なのだとしみじみ感じます。今更性格など変えられるはずもなく、悪あがきと知りつつ向上？いや現状維持を目指しています。



ダイエットと書いていてもおいしいランチをしっかりと食べ、そして一緒にプレーしてくれる仲間にも恵まれ、感謝の一言です。足が動く限りはゴルフを楽しみたいと思うこの頃です。

【園芸クラブ】 楽しく 美味しく 奥の深さにもふれて 根本 秀一

生方部長さんのお宅と埴町中央公民館を活動場所に、16名で和気あいあいと活動しています。



5月はナス、トマト、ピーマン、パプリカ、6月はダ・ヴィンチ、スティックセニョール、7月はパンジー、9月はタマネギ、10月はソラマメ、スナップエンドウと、播種から収穫までノウハウを学びながら楽しんでいます。技術と同時に、専門の生方部長さんから土壌の団粒構造、定植時のならし、石灰や肥料などの必要量の目安、定植の手順等々の知識も教えていただき、また、野菜のもつ抗酸化作用、免疫力、解毒力などの健康効果についても話題にさせていただき、栽培の奥の深さにふれ、大変ためになる、そして充実した活動となっています。

今、我が家の庭には、8月に蒔いたパンジーたちが黄色や紫の可憐な花を揺らし、大きめのプランターでは、初夏にビールのつまみになろうと、ソラマメとスナップエンドウが冬越しをしています。そのときが楽しみです。



「随處樂」
「ずいしょにらくあり」と読みます。
どのような場所、どのような境遇であつても
楽しむ心を失わないという意味です。
福島県書道連盟展で、特選となりました。
四回目です。

随處樂

東白文芸

書道作品

神永睦子

訃報

本会会員
白石光雄氏(93歳)が、
12月22日に、ご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

今年度計3回の広報発行にご協力いただきましてありがとうございました。コロナが5類に移行された今年度は、対面でお会いする機会が多くなり、事業が以前のように戻ってきたことはうれしい限りです。
次年度もよろしくお願いいたします。